

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-138462

⑬ Int. Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	⑭ 公開 昭和63年(1988)6月10日
G 06 F 15/30	3 2 0	7208-5B	
G 07 D 9/00	4 2 6	8109-3E	
G 07 F 7/08		P-6929-3E	
	1 0 2	6929-3E	
G 09 F 9/00	3 6 2	6866-5C	審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 現金自動取引装置

⑯ 特 願 昭61-284358

⑰ 出 願 昭61(1986)12月1日

⑱ 発 明 者 根 本 昭 二 郎 愛知県尾張旭市晴丘町池上1番地 株式会社日立製作所旭工場内
 ⑱ 発 明 者 川 村 薫 愛知県稲沢市幸町120番地 中部日立電機株式会社内
 ⑱ 発 明 者 服 部 昌 彦 愛知県稲沢市幸町120番地 中部日立電機株式会社内
 ⑲ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
 ⑲ 出 願 人 中部日立電機株式会社 愛知県稲沢市幸町120番地
 ⑲ 代 理 人 弁理士 小川 勝男 外1名

明 細 書

3. 発明の詳細な説明

1. 発明の名称

現金自動取引装置

2. 特許請求の範囲

1. ガイダンス表示用ディスプレイと磁気カード又は、ICカード入出力機構を備えた現金自動取引装置において、利用者の磁気カード又は、ICカードに利用者の生年月日を入力しておき、カード挿入時に読取ったデータを基に利用者の年齢を算出し、現金自動取引装置のディスプレイにその年齢に応じて文字を大きくしたガイダンス表示を自動的に行うことを特徴とする現金自動取引装置。

2. 上記現金自動取引装置において、利用者の磁気カード又は、ICカードにその利用者の視力を入力しておき、カード挿入時に読取ったデータを基に現金自動取引装置のディスプレイにその視力に応じて文字を大きくしたガイダンス表示を自動的に行うことを特徴とする第1項請求範囲の現金自動取引装置。

〔産業上の利用分野〕

本発明は、ガイダンス表示用ディスプレイと磁気カード又は、ICカード入出力機構を備えた現金自動取引装置に係り、特に高齢の利用者が取扱う場合に好適な大きな文字でディスプレイにガイダンス表示する現金自動取引装置に関する。

〔従来の技術〕

従来の装置には、ガイダンス表示内容を選択するものとしては特開昭58-192166号公報に記載のように操作キーにより言語を指定するものがあるが、視力の弱い利用者が表示文字の大きなガイダンスを選択する場合の方式としては不適である。

〔発明が解決しようとする課題点〕

上記従来技術は、高齢者や弱視力者が利用する場合のガイダンス表示について配慮されておらず、該利用者が操作する場合の誤操作等により操作時間が増大して、自動機の稼働効率低下等の問題があった。

本発明の目的は、高齢の利用者でも磁気カード

又は、ＩＣカードを挿入するだけで、利用者の生年月日より、利用者の年齢を算出し、その年齢に応じて文字の大きさを指定し、ディスプレイにその文字でガイダンス表示する現金自動取引装置を提供することにある。

〔問題点を解決するための手段〕

上記目的は、高齢の利用者でも現金自動取引装置が利用できるように、利用者の生年月日を入力した磁気カード又は、ＩＣカードをカード入出力機構に挿入するだけで、その利用者の生年月日を基に年齢を算出し、その年齢又は、視力に応じて文字の大きさを指定する。その文字を分割してディスプレイにガイダンス表示することにより達成される。

〔作用〕

本発明では、高齢の利用者がガイダンス表示の文字の大きさを選択する動作を磁気カード又は、ＩＣカードを挿入するだけで利用者の生年月日より、年齢を算出し、その年齢又は、視力に応じて文字の大きさを指定し、ディスプレイにその文字

フローチャートである。このフローチャートを参照しながら動作を説明する。まず始めに希望取引を選択するが、ここでは、支払取引（カードのみで、通帳を使用しない）にて説明を行う。支払取引の操作ボタン４を押した後、利用者の生年月日を入力した磁気カードをカード挿入口２に挿入する（ステップ７）と、磁気カード入出力機構により、磁気カードの記録内容（口座番号、暗証番号、生年月日、その他）を読み取る（ステップ８）。次に磁気カードから読み取った生年月日より、利用者の年齢を算出し（ステップ９）、一定の年齢に達していない場合は、通常のガイダンス表示を行う（ステップ１０）。第３図は、通常のガイダンス表示（暗証番号入力）で、このガイダンス表示に従って暗証番号を入力し（ステップ１２）、以下通常のガイダンスに従って支払金額を入力すると、ＡＴＭからカード、明細票、現金が順に放出される。利用者の年齢が一定の年齢に達している場合は、ＡＴＭは自動的にガイダンス表示を分割し、文字を大きくして表示を行う（ステップ１３、１４）。

でガイダンス表示を行う。又ディスプレイでのガイダンス表示の方法もできるだけわかりやすくするために文字を大きくし、標準の場合のガイダンス表示を分割して表示する。このことにより、高齢の利用者は、ガイダンス表示に時間を取られるが、文字が見やすくなり、文字の大きさを選択する必要がなく、操作ミスを生じる恐れがなくなる。

〔実施例〕

以下、本発明の一実施例について図面を用いて詳細に説明する。第１図は、現金自動取引装置（以下、ＡＴＭと略す）の外観図である。１は、本装置の筐体であり、この筐体１内には、紙幣預入／支払機構、磁気カード入出力機構、明細票発行機構、通帳印字機構および制御装置などが収容されている。筐体１の前面には、操作部があり、垂直面上部には、磁気カード挿入口２、通帳挿入口５が設けられている。また操作部の水平面には、紙幣入出金口６、ガイダンス表示用ディスプレイ３、操作キー４などが設けられている。

第２図は、本発明によるＡＴＭの動作、操作の

第４図、第５図は、第３図のガイダンスを分割し文字を大きくしたガイダンスである。利用者は、このガイダンスに従い暗証番号の入力を行う（ステップ１５）。以下、ＡＴＭに表示されるガイダンスは、総て自動的に文字を大きくして表示され、利用者はそのガイダンスに従って支払金額を入力するとＡＴＭからカード、明細票、現金が順に放出される。

上記の一実施例において利用者は、磁気カードを挿入するだけで利用者の生年月日より年齢を算出し、その年齢に応じて文字の大きさを指定してディスプレイにガイダンス表示する。このことにより、高齢の利用者でもＡＴＭを容易に操作することができ、利用者に対するサービス向上及びＡＴＭ稼働率向上の効果がある。

〔発明の効果〕

本発明によれば、高齢の利用者が磁気カード又は、ＩＣカードを挿入するだけで、その利用者の生年月日より年齢を算出し、その年齢又は視力に応じて文字の大きさを指定し、ディスプレイにガ

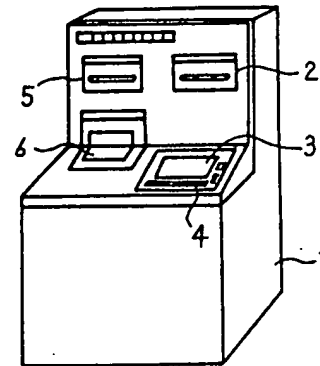
イダンス表示する。このことにより、現金自動取引装置の利用者の年齢帯を広くすることができ、利用者との取引をスムーズ化し現金自動取引装置の利用効率を向上させる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明の一実施例の装置の前面外観図、第2図は、本発明実施例の動作、操作を示すフローチャート、第3図、第4図、第5図は、ガイダンス表示の一実施例であり、第3図は、標準文字でのガイダンス表示図、第4図、第5図は、文字を大きくしてガイダンス表示図である。

- 1…筐体、
2…磁気カード挿入口、
4…操作キー、
5…通帳挿入口、
6…紙幣入出金口。

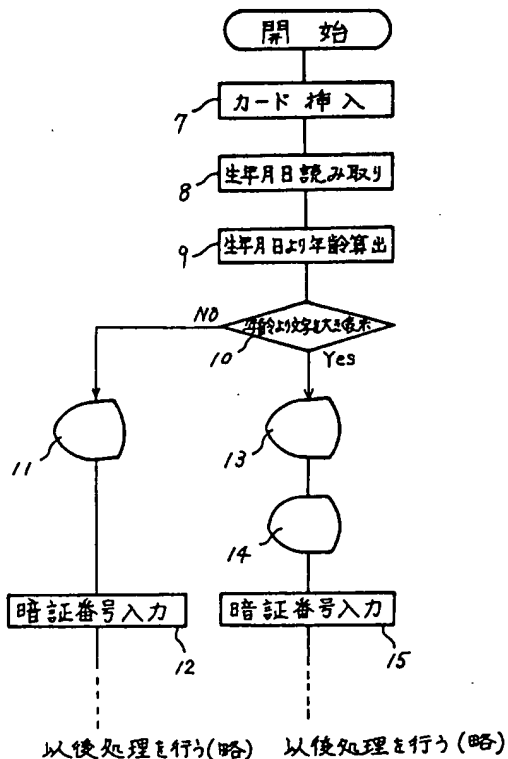
第1図



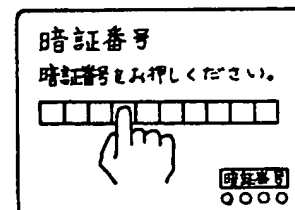
- 1 筐体 4 操作キー
2 磁気カード挿入口 5 通帳挿入口
3 ガイダンス表示用ディスプレイ 6 紙幣入出金口

代理人弁理士 小 川 勝 男

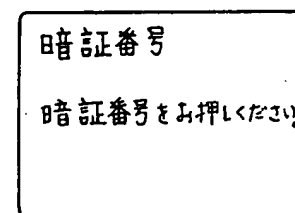
第2図



第3図



第4図



第5図

